

【22_279思考系メルマガ】調子のよい月、わるい月とトレード

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

トレードを長くやっていると、面白いくらい自分の型がハマりまくって

エントリーすれば利確、またエントリーすれば利確、、、と

利益が入れ食い状態になるなんていう月がたまにあったりします。

そんな時にふとよぎるのは「もう調子がいいうちに、今月はトレードやめておこうかな。。。」

という考え。

これに対しては、あまり良し悪しを断定したくはないのですが

あくまで“僕個人”の考えとしては、調子の良し悪しに関係なく、『型』が出ている限りは

コンスタントにトレードをするべきだと考えています。

□
└─┘ 調子の波は、上にも下にもやってくる
└──────────────────┘

言ってみれば当たり前の話になってしまいますが、調子の良い月というものがあれば

逆に調子の悪い月というのも必ずおとずれます。

こればかりは、相場の流れ次第ですから、自分でコントロールできる問題ではありません。
(これもまた、『相場の不確実性』というやつです)

ですから、調子が良いうちは『型』通りのトレードでしっかり稼いでおき、調子のわるい月でも『型』
に沿って

しっかり資金を守りながら戦い抜く。

すると、結局年間を通した平均ではほぼ想定した水準の利回りに落ち着く、、、というのが僕の認識です。

また、これはトレードスタイルにもよるところですが、月末・月初・ゴト一日といった

金融面で一般的に警戒すべきと言われる日であっても

僕はあくまで、チャート上の『型』に従ってトレードすると決めています。

▼参考ツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1576877258958319617>

何故かという、そういった日に『特有の値動き』のようなものがあって、普段の型がワークしなくなるというような

明確な過去の傾向があるならば、それを考慮しないといけませんが

結論、そういったものが(現在のところ)ほぼ確認できないからです。

つまり、自分のテクニカルの『型』でトレードするのに、その特定の日という要素は

「不確定要素と見る必要がない」と、過去の傾向・結果から分かっているの

わざわざそれを考慮して、トレードしない理由にはならないということですね。

これも結局、自分がトレードする時に『何を基準として考えるか』を自分で決めておくことが重要であるという話と地続きになっています。

(メルマガ【127】通目参照)

僕の場合は、あくまでも『チャート上で視認できる形のみを根拠とする(相場の値動きだけが答えを持っている)』

というポリシーでトレードをしているので、あくまでも値動きに従い、それに伴う『型』を絶対と考えています。

最終的には、結局『自分が決めた基準にのみ従う』だけという、身も蓋もない結論になってしまうのですが

これが結局、相場と対峙する個人トレーダーの最適解であるわけですので、仕方がないですね（笑）

自分で決めて、それを一貫するというのは ただ「やるぞ！」と決意するだけで出来るほど簡単な話ではありません。

それを信じて、行動に移すには、その背景となる十分な検証母数と、フォワードテストの結果をもって自分を信頼させるしかありません。

ですが逆に、これさえ固まってしまうえば「トレードってこんなに考える事すくなかったっけ？」と思うようになるものなのです。

皆さんにも一早く、その拍子抜けしてしまうような感覚を味わってもらえるように

今日の話もヒントにしてもらえたらと思います。